

定例工学研究科教授会議事録

日 時 平成16年12月8日(水) 13時47分～14時49分
15時50分～17時17分

場 所 工学研究科大会議室

出席者 井口研究科長 ほか99名

欠席者 32名

外国出張 1名

1. 前回記録確認

議長から、平成16年9月8日(水)開催の定例工学研究科教授会議事録案について諮り、原案どおり承認した。

2. 人事異動

議長から、人事異動について、配付資料に基づき報告があった。

3. 委員会等報告

次の委員会から追加報告があった。

(1) 専攻長会議(12月8日)

議長から、教員(1名)から任期満了退職の申し出があり、承認したことの報告があった。

4. 審議事項

(1) 都市・建築学専攻の組織変更について

議長から、都市・建築学専攻の組織変更について提案があった後、当該専攻長から配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認し総長に申請することとした。

(2) 工学研究科専攻長会議に付託する審議事項及びその取扱いに関する細則の一部改正について

議長から、工学研究科専攻長会議に付託する審議事項及びその取扱いに関する細則の一部改正について提案があった後、総務課長から配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、同細則の施行は、専攻長会議の審議事項との関連から平成16年12月1日とした。

(3) 東北大学大学院工学研究科教育研究評議会評議員互選内規の制定について

議長から、東北大学大学院工学研究科教育研究評議会評議員互選内規の制定について提案があった後、研究科長候補者等選考制度検討委員会委員長から配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、議長から、この内規の制定に伴い、工学部評議員互選内規は廃止する旨発言があった。

(4) 教授の任用について

議長から、教授任用選考委員会から報告のあった教授候補者(1名)の任用について、投票により採決したい旨提案があった後、当該専攻から選考の経緯及び研究業績等について説明があり、投票の結果、賛成票が議決必要数を超えたので教授任用を承認した。

(5) 助教授の任用について

議長から、助教授候補者(6名)の任用について提案があった後、当該専攻から研究業績等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

(6) 講師の任用について

議長から、講師候補者(2名)の任用について提案があった後、当該専攻から研究業績等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

5. 報告事項

(1) 男女共同参画に関する意識調査の結果について

男女共同参画ワーキンググループ委員長から、平成15年に実施された全学の学生・院生を対象としたアンケート結果から工学部・工学研究科分を抽出し調査した旨及びこのアンケートの具体的記述の内容等について報告があった。

(2) 研究専念教員の任用について

副研究科長(研究担当)から、配付資料のとおり報告があった。

(3) 客員助教授の称号授与について

議長から、配付資料のとおり報告があった。

(4) 各種研究員の受入れについて

議長から、配付資料のとおり報告があった。

(5) 創立100周年記念事業募金受入れ状況について

議長から、配付資料に基づき報告があり、同募金への協力依頼があった。

(6) 工学部史編纂委員会からの報告について

委員長から、11月19日に工学部史編纂委員会を開催し、超臨界溶媒工学研究センターの記述は工学部史の中を含める方向で進んでいる旨及び原稿の締め切りを11月末日とした旨報告があった。

6. その他

(1) 発議(東北大学大学院工学研究科運営会議内規の改正の検討依頼に関する発議)について

構成員から、発議について文書により説明があり、専攻長会議で検討いただきたい旨発言があった。他の構成員からサポートがあり、種々意見を交換した後、議長から、次回専攻長会議の議題として取り扱いたいので、運営会議の委員構成に教育研究評議会評議員を加えることについて各専攻等で検討願いたい旨発言があった。

(2) 発議(総長問題に関する教授会決議)の取扱いについて

構成員から、7月14日開催の研究科教授会において発議した「総長問題に関する教授会決議」の取扱いについて照会があり、議長から、9月1日及び10月6日開催の専攻長会議で審議し、各専攻等での検討結果について種々意見交換をした結果、教授会の議題では取り扱わないこととなった旨説明があった。

続いて、同構成員から、発議が専攻長会議で取り扱われたことに疑問があるので、再度発議したい旨発言があり、議長から、各専攻等での検討結果を基に専攻長会議で審議した結果であることを理解いただきたい旨発言があった。

以上